

■重点目標Ⅰ 良質な教育の実践

■重点課題① 魅力ある教育プログラムの開発・実践

- (1) 学力向上のための放課後講座の開講：主要3教科および政経・化学・思考力養成講座を予備校講座として開講。他教科は本校職員に進学講座を実施。3年限定で県外予備校講師による講座を開講。
- (2) 朝テストを予定通り実施し、学習習慣と基礎学力向上につながった。
- (3) 学習支援センターの運営を、外部業者に業務委託し、円滑な運営がなされた。
- (4) 探究活動の推進
連携外部機関の検索・打診（都市大・塩尻市役所・JICA等）、成果発表会・論文集作成。校外の発表会に参加し、中信高校生探究フェスティバルでは最優秀賞を受賞。

■重点課題② サポート体制の充実

- (1) 部活動の活性化
 - ①部活動において専門知識を有する部活動外部指導者を7部活が導入。
特筆すべきこととして、女子バレーボール部が長野県内の女子バレーボール部では初のインターハイ準優勝を飾るとともに、春の高校バレーでは全国ベスト8となった。
大会成績—全国大会3団体、北信越大会6団体、県大会12団体となった。
 - ②寮規則を運営に即しながら作成を行い、円滑な寮運営をすることができた。
- (2) 高大連携事業の充実→重点目標Ⅱに記載
- (3) 進学講座の積極的展開
思考力・表現力養成講座や予備校講座は計画通りの運営を行い、生徒の学力向上につながった。
- (4) 学習支援センター運営業務の効率化
運営を外部業者に委託することにより、本校職員のより個に適した進路指導の深化が図られた。
- (5) 生徒会活動の活性化
 - ①地域ボランティア活動の実践
 - *通学路花いっぱい運動（実施）
 - *全校クリーンキャンペーン（実施）
 - ②地域との交流—地域の保育園や小学校との交流実施
 - ③地域行政との関わり
 - *塩尻市役所広報課と取材協力・編集、市役所の2024年度事業計画作成への協力。

■重点課題③ 教職員の人材育成・資質向上

- (1) 受験指導及び国公立・難関私大対応授業可能な教員の募集。
- (2) 受験教科・小論文研修会
共通テスト分析報告会を校内で実施し、教科研修を行った。小論文研修会は2学年職員及び生徒に実施。

■重点課題④-1 ICTを利用した教育計画

- *全員がiPadを所持する形となり、個別最適化学習へ向けての環境が整った。
- *校内の職員研修をより活発化する必要がある。

■重点課題④-2 国際化計画

フィリピン語学研修 3/19～4/1 まで実施。EnglishCafe, CLIL 学習、EnglishCamp、オンライン英会話実施。

オーストラリア Mount Gravatt High School とのオンライン交流実施。中国語・韓国語講座（各 13 回）実施。留学生（モンゴル・ブルガリア）2 名を受入れ。中国甘泉外国語学校訪問団の受け入れ実施。中国甘泉外国語学校訪問実施。

■重点目標Ⅱ グループ間連携の進化・拡大

■重点課題① 各学校の連携強化

*探究コース

都市大を含む大学の教授陣による本校生徒へのオンラインでの研究指導、都市大を含む大学やその他の機関から講師を招き探究活動を実施。研究発表会実施を 3 月実施。中信高校生探究フェスティバル等外部の発表会に 8 つ参加。

*魅力ある高大連携への検討

・大学の教授による研究指導を実施していただいた。

*グループ高校間での 3 校サミットを実施。

■重点目標Ⅲ 教育環境の整備・充実

■重点課題① 学習環境の整備・充実

*全学年 8 クラス体制での教室配置や選択教室配置を行った。

■重点課題② 効率的業務の推進

*募集業務において、ネット出願システムを導入し、学校説明会申込にも活用し、入試業務の効率化を図っている。

■進路指導

①進学実績（以下は現役合格実績：過去最高となった）

- ・国公立大学合格：40 名 [国立 25 名、公立 15 名] 一旧帝大 2 名
- ・GMARCH12 名、日東駒専 34 名等私立大学合格

②高いレベルでの文武両道の実現

*クラス担任とクラブ顧問が連携し、進路目標と部活動目標に導く
進学一強化部・準強化部より 4 名の国公立大学合格者輩出。

*スポーツ進学類型プロジェクトにおいて、部活動としての意識と高校生活の振る舞いについて具体的な指導を討議し、生徒への指導を実施。